

事業所名

Cucuna (ククナ)

支援プログラム（参考様式）

作成日

2025

年

8

月

1

日

法人（事業所）理念		「地域で育ち、地域で暮らす」 地域で障がいを持つすべて子どもたちが「子どもらしく」成長できる場をつくり、年齢による成長を家族と共に喜び、将来「その子らしい生活」が送れるように支援します。							
支援方針		①本人支援：個々の状況に合わせ、成長発達段階や心身の状況にあわせた支援やケアを行います。個々のペースにあわせ集団生活にも少しずつ慣れていけるよう支援します。 ②家族支援：ご家族の方も安心して生活が出来るようお手伝いしていきます。 ③将来支援：他者との関りや環境の変化を体感し、未来につながる生きる力や、より良い社会参加につながるような支援を行います。							
営業時間		9時	30分	から	17時	0分	まで	送迎実施の有無	あり
支 援 内 容									
本人支援	健康・生活	子どもの体調観察や行動観察を通して健康状態を把握します。また、食事や排泄などの基本的な生活習慣が身につくよう、絵カードや食育プログラムを活用して支援します。咀嚼や嚥下に関する課題がある場合は、摂食指導を推奨しています。 子どもが落ち着いて過ごせるよう、視覚的に分かりやすく整理します。具体的には、絵カードで場所や活動内容を示したり、スヌーズレン（カームスペース）を活用して気持ちを落ち着かせる方法を育んだりします。							
	運動・感覚	スキンシップを通じて、体に触られることに慣れていく促しや、姿勢を保つための練習、ストレッチ、体操を通じて、手足の動きを良くし、関節のこわばりを和らげます。補助器具も使いつつ、筋力の維持と強化をサポートします。 車いすや装具などの道具を使って、自力での移動を助けます。バランスボールやハンモックなどを使い、平衡感覚を養う練習も行います。							
	認知・行動	視覚、聴覚、触覚などを通して、気温や明るさ、においなど、身の回りの情報を集め、認知機能を高めます。 遊具や玩具遊びなどを通して、物の大きさ、色、形、重さといった概念を形成し、それを認知や行動に役立てられるようにします。 感覚や認知の偏りに配慮しながら、季節の変化に興味を持たせたりする活動を通して、行動障害を予防・改善します。							
	言語 コミュニケーション	絵カードや映像などを使い、具体的な物の認識や言葉の意味を関連づけます。 その日の気分や気持ちを本人なりに表現し、それを相手が受け止めるというやりとりを通じて、人との相互作用を経験します。 パソコンやタブレット端末など、さまざまなツールや手段を使って、感情を表現したり、意思を伝えたりできるよう支援します。							
	人間関係 社会性	支援スタッフとの愛着形成を通じて、子どもの自尊心を高め、他者と安定した関係を築く力を育てます。 遊びなどを通じて他者の動きを認識したり模倣する機会を設け、社会性や対人関係の芽生えを促します。 デジタルツールや感覚運動遊びから、他者への関心を持つ感覚を養い、周囲と良好な関係を築く方法を促します。 自分の得意・不得意を認識し、それを適切な表現方法を用いて集団に適応する力を養います。							
家族支援		育児軽減につながるレスパイト 生活環境に応じた受入れ体制 将来的な生活へのアドバイス			移行支援		他事業所との連携・情報共有 保育園との連携（情報共有や専門的支援指導）交流		
地域支援・地域連携		保育園・幼稚園・学校への訪問や見学 交流地域でのイベント参加 ボランティア等の受入れ			職員の質の向上		防災防犯研修や虐待防止・身体拘束禁止研修などの内部研修 その他外部研修実施 他児童所への見学と交流		
主な行事等		季節の行事（お花見、ひな祭り、プール遊び、すいか割り、ミニ運動会、クリスマス会、初詣など） 映画鑑賞・音楽会・ペイントイベントなど							